



令和2年度

公認スポーツ指導者等表彰
受賞者名簿



公益財団法人

日本スポーツ協会





挑戦者たちは越えようとする。
 記録を。ライバルを。自分自身を。
 過去の常識も。世界の価値観さえも。
 挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
 これまでも、そしてこれからも、
 わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
 スポーツの持つ様々な可能性で、
 望む未来へたどり着くために。



JSPO

Japan Sport Association

スポーツと、望む未来へ。

OFFICIAL PARTNERS

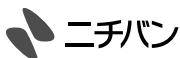


大塚製薬

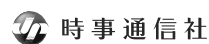


三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE



日本文化出版



OFFICIAL SUPPLIERS



日本体育施設

PR TIMES



MIKASA



目次

公認スポーツ指導者等表彰要項	2
----------------	---

受賞者名簿

表彰の基準第1号 指導者	4
表彰の基準第1号 スポーツドクター	25
表彰の基準第2号	29
表彰の基準第3号	35
表彰の基準第5号	36

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰要項

1. 趣旨

永年にわたりスポーツ指導者として、スポーツの指導育成及び組織化、競技力の向上、公認スポーツ指導者制度の発展その他国民スポーツの振興に貢献した者のうち、特に顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、将来のスポーツ界を担う若手指導者の奨励を通じて、今後における公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。

2. 表彰の基準

表彰の対象は、以下の各号の基準を満たす者とし、第1号から第4号までは公認スポーツ指導者とする。

(1) 永年表彰

公認スポーツ指導者資格登録認定後、通算15年以上にわたりスポーツの指導育成及び組織化等に尽力し、顕著な功績が認められ、原則として所属する中央・都道府県・市区町村の各競技団体若しくは都道府県・市区町村体育（スポーツ）協会、又は国・地方公共団体から表彰を受けた者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(2) 優秀選手育成賞

公認スポーツ指導者として、競技の普及や競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導してきた者。ただし、過去において同一選手の成績に基づき本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(3) 若手指導者奨励賞

受賞年度に満30歳以下の者のうち、今後、当該推薦団体において中心的な役割を担うことが期待される者。ただし、過去において本基準による表彰を受けたことがない者であること。

(4) 退任感謝状

おおむね15年以上にわたりスポーツの指導育成に貢献し、特に顕著な功績を残し退任した公認スポーツ指導者。

(5) 特別功労表彰

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして本会が特に認めた者、並びに公認スポーツ指導者として特に模範となる功績を上げたこと本会が特に認めた者。

3. 候補者の推薦

候補者の推薦は、次の各号により行うものとする。

- (1) 前項第1号に定める候補者については、加盟都道府県体育（スポーツ）協会及び加盟中央競技団体、別に定める様式により推薦を行うものとする。この場合、都道府県体育（スポーツ）協会については、前年度公認スポーツ指導者登録者数500名まで1名、以下500名までを越えるごとに1名を増やした人数を、中央競技団体については、1団体3名以内を推薦することができる。

- (2) 前項第2号および第3号に定める候補者については、加盟中央競技団体が別に定める様式により推薦を行うものとする。
- (3) 前項第4号に定める候補者については、加盟団体が特に必要と認めた場合に推薦を行うものとする。
- (4) 前項第5号に定める候補者については、本会が直接推薦を行うものとする。

4. 被表彰者の決定

被表彰者は、本会会長が指導者育成委員会の審査を経て、決定するものとする。
ただし、前項第4号については、加盟団体長にその審査を委任することができる。

5. 表彰の方法

表彰の基準第1号、第2号、第4号、第5号については、本会会長が表彰状又は感謝状を授与する。
表彰の基準第3号については、本会指導者育成委員会委員長が表彰状を授与する。

6. 附則

この要項は平成7年5月16日から施行する。

この要項は平成11年3月8日から施行する。

この要項は平成19年8月22日から施行する。

この要項は公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

この要項は平成27年9月24日から施行する。

この要項は平成30年4月1日から施行する。

この要項は令和元年6月21日から施行する。

公認 スポーツ指導者等表彰受賞者名簿

【表彰の基準 第1号】指導者 160名

公認スポーツ指導者として、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの指導育成及び組織化などに尽力し、顕著な功績が認められた方。

●都道府県体育・スポーツ協会推薦

推薦団体：公益財団法人 岩手県体育協会

氏名	上野 吉朗
資格名	ボウリングコーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県ボウリング連盟、盛岡市ボウリング協会の役員を務め、組織の運営やボウリング競技の普及・発展に携わるなど、その功績は誠に顕著である。特に、盛岡市ボウリングスポーツ少年団を1986年に発足以来、現在まで子どもたちの指導を続けており、数多くの選手を全国大会へ導くなど、若手ボーラーの礎を育成した功績は多大である。
氏名	岩澤 健二
資格名	山岳コーチ1・スキーコーチ2
主な功績	永年にわたり、岩手県山岳・スポーツクライミング協会の運営に携わり、競技力向上や選手育成に努め、山岳・スポーツクライミング競技の普及・発展に大きく貢献した。また、国民体育大会や全国高等学校総合体育大会の山岳・登山競技の指導者として多数の優勝者を輩出するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	阿部 伸
資格名	ハンドボールコーチ3
主な功績	高等学校教員として永年にわたり、ハンドボール競技の競技力向上に努め、全国高等学校総合体育大会等において活躍する選手を数多く輩出するなど、高校生の指導育成に尽力した。また、岩手県スポーツ指導者協議会の役員を務め、県内の公認スポーツ指導者の資質向上を図るなど、組織の充実・発展に寄与しており、その功績は多大である。
氏名	坂本 利夫
資格名	弓道コーチ1
主な功績	弓道競技の指導者として、岩手県内はもとより全国で活躍する選手を輩出するなど、選手の指導育成に尽力した。また、九戸村立九戸中学校の武道必修授業や二戸市民弓道教室の講師を務めるなど、弓道競技の普及・発展に大きく貢献した。永年にわたり、岩手県弓道連盟の役員を務めるなど、競技力向上にも大きく寄与しており、その功績は多大である。
氏名	小林 健蔵
資格名	弓道コーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県弓道連盟の運営に携わり、競技委員長をはじめ指導委員、強化委員を歴任し、競技の普及、競技力向上に大きく貢献した。2016年開催の第71回国民体育大会（岩手県）では近的射場係長として、計画段階から参画し、大会を成功に導いた。また、盛岡市と二戸市で初心者弓道教室の講師を務めるなど、競技の普及に大きく貢献しており、その功績は多大である。
氏名	村田 好應
資格名	アーチェリーコーチ1
主な功績	永年にわたり、岩手県アーチェリー連盟、盛岡市アーチェリー協会の役員を務め、アーチェリー競技の普及、組織の充実・発展に大いに尽力した。2016年開催の第71回国民体育大会（岩手県）では競技役員として、準備段階から参画し、大会を成功に導いた。現在も各種大会運営や指導者の育成に努めるなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 宮城県スポーツ協会

氏名	板垣 嘉明
資格名	ボウリングコーチ1
主な功績	1983年宮城県ボウリング連盟副理事長に就任、自らの競技活動の傍ら、ジュニア選手の養成に尽力、1998年には公認スポーツ指導者資格を取得し、多くの少年選手を国民体育大会に輩出した。また2001年開催の第56回国民体育大会（宮城県）では、競技役員として活躍。その後も選手の育成に努力している。東日本大震災ではフランチャイズセンターが壊滅し、会員離散の危機に瀕したが、率先して組織の維持に努力し、今日、同連盟の中核的指導者である。

推薦団体：公益財団法人 秋田県体育協会

氏名	原田 利雄
資格名	バドミントンコーチ4
主な功績	永年にわたり、バドミントン競技の指導にあたり、社会人チームにおいて、世界で活躍する選手を輩出するなど、その手腕を大いに発揮している。また、選手の育成に尽力するとともに、秋田県内各地の地域住民や小中学生、特別支援学校の生徒と、トップ選手がバドミントンで交流する活動を継続実施するなど、大きく社会貢献にも努めている。
氏名	梅津 恭子
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、なぎなた競技の指導にあたり、小学生から一般まで、幅広い世代の指導、普及に貢献し愛好者を増やしている。また、国民体育大会選手や強化指定選手の指導など競技の発展にも大きく貢献し、その功績は大きい。
氏名	高田 恵美子
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり、なぎなた競技の指導にあたり、国民体育大会選手や強化指定選手の指導など競技の発展に大きく貢献している。また、地元地域での小中学生の指導、育成にも力を入れ、地域の活性化に大きく寄与するなど社会貢献にも努めている。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	藤原 浩
資格名	水泳コーチ3
主な功績	20年以上の永きにわたり、水泳（飛込）競技の指導に携わり、小学生の初心者から全国大会で活躍する選手の育成まで、幅広く競技の普及と競技力向上に尽力してきた。特に、地域に根差した活動を心がけており、スポーツ少年団の理念と総合型地域スポーツクラブの仕組みを取り入れた組織活動にも力を注ぎ、山形県飛込競技の振興に貢献した功績は多大である。
氏名	船越 重幸
資格名	山岳コーチ2 マスター
主な功績	永年にわたり、山形県山岳連盟の指導委員長、会長を歴任し、指導員の積極的な育成並びに山岳連盟の組織を牽引した。また、山形県高等学校体育連盟登山部理事、登山部長として、組織の活性化と指導者育成、高校生部員の技術向上に献身的に取り組んだ。さらに、一般登山者を対象とした登山教室等でも講師を務め、登山の普及に寄与した。
氏名	多田 光男
資格名	ソフトボールコーチ2
主な功績	山形県ソフトボール協会では永年理事を務め、特に審判委員長を20年務め審判員の育成・指導に尽力した。ソフトボール強化部長も兼務し、普及強化に広く活躍、1958年クラブチームを発足し、国民体育大会で2位2回、3位2回、東北大会8連覇など男子での東北の先駆者として貢献。高校・中学女子の技術向上や強化には部活動指導を通じて献身的に取り組まれ、高齢化が進む中1996年シニアチームを発足、現在に至る。
氏名	谷田 幸隆
資格名	ソフトボールコーチ3
主な功績	中学女子監督4年、高校男子監督23年と永年にわたり、ソフトボール指導に当たり、選手の育成に尽力された。その間に全国高等学校体育連盟21回、全国高等学校ソフトボール選抜大会14回、国民体育大会5回出場。東北大会には多数出場し合計13回優勝させるなど競技力向上に貢献した。山形県ソフトボール協会では、永年理事を務めている。特に、2018年からは技術委員長並びに選手強化本部強化部長として、全種別の選手育成・強化に貢献している。

推薦団体：公益財団法人 福島県体育協会

氏名	佐藤 章一
資格名	山岳コーチ1
主な功績	福島県山岳連盟役員に就任以来、永年にわたり市民を対象にした登山・スポーツ振興活動に熱心に取り組む、福島県高等学校体育連盟などとも連携しながら普及指導に積極的に携わっている。特にスポーツクライミングにおいては、第74回国民体育大会（茨城県）で少年少女の部で入賞を果たした選手の育成指導に功績があったと認められる。

推薦団体：公益財団法人 茨城県体育協会

氏名	阿部 幸江
資格名	バスケットボールコーチ1
主な功績	1975年に多賀クラブ、1984年に多賀ママクラブを結成し指導者兼選手として活動。1995年に地域のミニバスケットボールスポーツ少年団を結成し指導者になる。1995年に茨城県家庭婦人バスケットボール連盟を設立して同時に理事長に就任した後、会長の役職を務めた。さらに茨城県バスケットボール協会副会長の役職を務めるなど、バスケットボールの普及発展に多大な貢献と尽力があり、その功績は誠に顕著である。
氏名	高松 淑子
資格名	ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり地区体育振興会の常任理事として、地区の体育振興に尽力している。また、地域の子供達の健全育成のため、複合スポーツ「若鮎スポーツ少年団」を設立し代表として活動している。さらに、日独スポーツ少年団同時交流の指導者として参加し、その経験を生かして地域スポーツ活動に多大な尽力があり、その功績は誠に顕著である。
氏名	近藤 忠
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年にわたり取手市体育協会の役員を務め、2006年開催の第19回全国スポーツレクリエーション祭の年齢別ソフトテニス大会の監督兼選手として出場し、2019年開催の第74回国民体育大会（茨城県）取手市大会の実行委員として宿泊衛生専門委員長を務めた。現在も茨城県スポーツ指導者協議会の会員として協力しているほか、1997年から藤代南中女子ソフトテニス部の外部コーチとして指導している。

推薦団体：公益財団法人 栃木県スポーツ協会

氏名	大島 正信
資格名	テニスコーチ1・スポーツプログラマー・アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり日光市スポーツ指導者協議会の運営に携わり、テニス競技の普及を中心に活動し、その功績は誠に顕著である。現在も、日光市スポーツ指導者協議会のリーダー的存在として大会等のスタッフとして地域に貢献している。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	熊川 輝男
資格名	スケートコーチ4
主な功績	永年にわたり、スピードスケートの指導に携わり、アルペールビルオリンピック競技大会銀メダリストの黒岩敏幸をはじめとする、5名のオリンピック選手を輩出した。群馬県スケート連盟の理事長・副会長を歴任し、連盟の発展に大きく貢献した。現在、日本スケート連盟評議員として活躍している。
氏名	中村 司
資格名	ボクシングコーチ3
主な功績	群馬県内で1983年から高校生選手を中心に指導に当たる。群馬県高等学校体育連盟ボクシング専門部委員長として選手指導のほか、各大会の開催と運営、また群馬県ボクシング連盟では強化委員長、理事長を歴任し、2010、2019年度全国高等学校ボクシング選抜大会の群馬県開催に携わった。また群馬県スポーツ協会の拠点施設活用事業に参加しジュニア選手の発掘と育成を行っている。

氏名	酒井 明男
資格名	軟式野球コーチ 3
主な功績	群馬県の軟式野球の普及・振興及び強化に力を注ぎ、卓越した指導力と企画力により、多くの役員・審判員及び選手から支持されている。群馬県軟式野球連盟の底辺拡大、特に学童野球のスポーツ環境の向上に努め、その健全育成に寄与するだけでなく、楽しめる生涯スポーツとしての軟式野球の確立に貢献してきた。また、審判部長として審判員育成強化等についても研鑽を重ね、県内各種大会において貢献した。
氏名	保坂 哲也
資格名	ソフトボールコーチ 4
主な功績	2006年度から2015年度まで群馬県ソフトボール協会常務理事（指導者委員長）として、また2008年度から関東ソフトボール協会指導者委員長、日本ソフトボール協会指導者委員として活躍した。指導者関係でソフトボール指導者のために更新研修や指導者養成講習会を開催し本人も講師として講習を行い、多くのソフトボール指導者の見本となり、その功績は誠に顕著である。
氏名	齋藤 隆
資格名	空手道コーチ 2
主な功績	1988年から顧問として高校で空手道の指導を行う。1989年から群馬県空手道連盟の事務局員及び群馬県高等学校体育連盟空手道専門部の事務局長として、両団体の諸行事の企画運営、関東・全国大会の開催運営、選手・指導者の育成に携わった。現在は群馬県空手道連盟の理事長として活動を続けている。30年以上にわたり、組織の活性化、競技力向上、青少年の健全育成、生涯スポーツの発展に尽力しその功績は誠に顕著である。
氏名	阿部 清子
資格名	なぎなたコーチ 3
主な功績	1985年から館林市においてなぎなた競技の指導にあたり、地域団体の組織化に尽力。永年にわたり館林市体育協会の理事を務める。群馬県なぎなた連盟の理事長や副会長を歴任し、スポーツ指導員の育成に携わったほか、全日本なぎなた連盟の評議員を務めるなど、なぎなた競技の発展や組織の充実に貢献した。

推薦団体：公益財団法人 埼玉県スポーツ協会

氏名	西山 逸成
資格名	近代五種コーチ 4
主な功績	所沢市スポーツ指導者協議会にて、1989年発足当時から現在に至るまで永年の間、常任理事として中心となって数多くの事業を企画、実施するなど積極的に参加し同協議会の発展に貢献した。各スポーツ関係の著名人を招聘、早稲田大学との連携によるドッジボールの普及、卓球の選手や市民への体力測定、その評価を通じて指導者には知識と経験を養い、市民にはスポーツへの関心を持たせるなど指導、貢献してきた。
氏名	鈴木 光式
資格名	ボウリングコーチ 3
主な功績	1998年にボウリング指導員（現コーチ1）資格（埼玉県内1期生）を取得し、2004年にはボウリングコーチ資格（現コーチ3）を取得してボウリング競技の普及に尽力している。現在、87歳の現役で県内外の大会に出場し、後進の手本となる活動をしている。
氏名	温井 英
資格名	ボウリングコーチ 3
主な功績	2000年にボウリング指導員（現コーチ1）を取得し、2003年にはボウリングコーチ（現コーチ3・県内第1号）を取得。第64回国民体育大会（新潟県）少年男子団体第2位監督。1998年本庄市ボウリング連盟を設立し、同市体育協会に加盟、2018年まで会長を務める。2006年から2011年まで埼玉県ボウリング連盟審判委員長。2019年埼玉県ボウリングスポーツ指導者協議会を設立し、埼玉県スポーツ指導者協議会に加盟する。
氏名	金子 守
資格名	ボウリングコーチ 1
主な功績	1992年富士見市ボウリング協会を設立、同市体育協会に加盟しボウリングの普及に尽力するとともに、同市体育協会の役員としてスポーツ団体の取りまとめやサポートのみならず、市民の健康づくりや青少年の育成活動に寄与した。1998年にボウリング指導員（現コーチ1）資格を取得（県内1期生）。1999年埼玉県ボウリング公認競技場協会を設立し、現在も会長を務める。ボウリング競技が初めて実施された第43回国民体育大会（京都府）に埼玉県選手として参加した。

氏名	鈴木 亘
資格名	なぎなたコーチ3
主な功績	埼玉県なぎなた連盟強化委員長として全国大会入賞選手を数多く育成している。選手から指導者への移行期にも自らの経験を生かし指導にあたっている。全日本なぎなた連盟主催の強化合宿でも講師を務めるなど県内にとどまらず指導を行っている。また、自己研鑽を怠ることなく「なぎなたの理念」に基づき普及発展に努めている。
氏名	黛 行雄
資格名	卓球コーチ1
主な功績	永年にわたり実業団チーム（ボッシュ）で選手、監督として活躍の傍ら、地元寄居町で毎週土曜日には小中学生を指導してきた。また、2002年からは、埼玉県卓球協会スポーツ指導者協議部の役員としてその運営に携わってきた。2010年からは、その部長として企画、運営に携わり県内の指導者育成に尽力してきた。
氏名	保坂 かおる
資格名	水泳コーチ3
主な功績	永年にわたり高校水泳部の指導に携わり、指導している生徒たちには、競技に参加することのみならず、競技会の運営にも携わらせることで、水泳を通して人間育成に努める。さらに埼玉県水泳連盟の総務委員長としても全体の取りまとめ役として寄与している。

推薦団体：公益財団法人 千葉県スポーツ協会

氏名	石田 澄雄
資格名	空手道コーチ3
主な功績	永年にわたり空手道を通してスポーツ振興及び青少年健全育成に努めている。また、千葉県空手道連盟、船橋市空手道連盟の役員として組織の拡充に努めており、県連盟指導者委員会委員長として技術指導を行い、競技力向上と指導者育成に尽力しており、その功績は多大なものである。
氏名	嶋田 俊夫
資格名	剣道コーチ1
主な功績	永年にわたり地域において剣道の指導を行い、剣道による生涯スポーツの普及・発展に努めている。また、技術指導を通して多くの称号者を輩出している。さらに、千葉市剣道連盟の役員としても永年にわたり組織の充実・発展に貢献しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	宗像 洋文
資格名	ラグビーフットボールコーチ3
主な功績	永年にわたり大学ラグビー部のコーチをはじめ、地域のクラブチームやスポーツ少年団でラグビーフットボールの指導・育成に努めている。また、市川市ラグビーフットボール協会及び市川市体育協会の役員として市民のスポーツ振興に尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	木滑 美智代
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	永年にわたり茂原市体育指導委員会（現茂原市スポーツ推進委員会）副会長や茂原市ソフトテニス連盟副会長を歴任し、地域の中心的な指導者として活躍している。また、茂原市発祥のタッチバレーボールの普及やパラスポーツの推進にも努めスポーツ推進に貢献するなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	岩崎 修一
資格名	ラグビーフットボールコーチ3
主な功績	永年にわたり市原市においてラグビーフットボールの指導を行い、青少年の健全育成及び普及に努めている。また、市原市で開催の2010年開催の第65回国民体育大会（千葉県）や関東ブロック大会のラグビーフットボール競技において、会場長として大会成功のために尽力するなどその功績は多大なものである。
氏名	木川 邦夫
資格名	バレーボールコーチ1・スポーツプログラマー
主な功績	永年にわたり成田市においてバレーボール及びソフトバレーボールの指導を行い、普及・発展に尽力している。また、中郷地区体育協会、成田市レクリエーション協会、成田市ユニカール協会の設立に参画するなど組織の充実・発展にも努めており、その功績は多大なものである。

氏名	金田 升男
資格名	ソフトボールコーチ 2
主な功績	永年にわたり指導者としてソフトボールの全国大会に出場するチームを育成するなど地域においてソフトボールの普及・発展に尽力している。また、各種大会の運営や地区のスポーツ指導者協議会の役員として組織の充実・発展に貢献しており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 東京都体育協会

氏名	福井 博康
資格名	馬術コーチ 3
主な功績	1983年に東京都練馬区馬術連盟を設立しジュニア選手の強化練習及び乗馬スポーツ少年団の実績を上げるほか、シニアの初心者馬術教室にも力を入れ、馬術普及に貢献している。2016年には茨城県に練馬区民がいつでも専用馬場で練習できる環境を提供し、馬術の振興と生涯スポーツの実現に寄与した。また、区民に限らず首都圏の初心者を対象として過去32回の練馬区親睦馬術大会を主催し馬事の普及に大きく貢献し、その功績は顕著である。
氏名	澁谷 五郎
資格名	卓球コーチ 4 マスター
主な功績	東京都卓球連盟に所属し、1994年から2017年理事、2018年から現在まで顧問として務めている。その間、1996年から競技力向上委員として少年選手の育成強化事業に従事し、第67回から第72回国民体育大会において少年男子監督を務めた。また、1996年から2019年指導者・上級指導者育成講習会の運営並びに講師として永年にわたり指導者の育成に貢献した。現在はアドバイザーとして活躍し、その功績は顕著である。
氏名	小泉 敏章
資格名	ゲートボールコーチ 1
主な功績	2002年10月に公認スポーツ指導者資格を取得後、地域だけでなく職域（海上保安庁）においてもゲートボール競技の指導及びチームの組織化に尽力した。2009年4月からは杉並区ゲートボール連盟理事長として、地域におけるゲートボールの普及活動に努めている。さらに2017年5月からは日本ゲートボール連合主催の公認スポーツ指導者養成講習会にて東京ゲートボール連合の普及指導部統括として指導者の育成に努め、その功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 神奈川県スポーツ協会

氏名	鈴木 敏雄
資格名	ソフトテニスコーチ 1
主な功績	永年にわたり神奈川県ソフトテニス連盟理事を務め、神奈川県ソフトテニス連盟の運営に携わり強化委員長、監督として国民体育大会の選手強化指導委員長、競技者育成プログラム責任者としてジュニア育成・強化の実績は誠に顕著である。
氏名	柳川 真寛
資格名	ソフトテニスコーチ 1
主な功績	神奈川県ソフトテニス連盟の代議員を長年務め、さらに小田原ソフトテニス協会の役員として大会等の運営に係わってきた。小田原市主催の小学生ソフトテニス教室や中学校にてジュニア選手の指導を行ってきたその功績は誠に顕著である。
氏名	鈴木 一
資格名	卓球コーチ 4
主な功績	永年にわたり三浦高校の教員として卓球部を指導し、多くの選手を育成した。卓球公認コーチ 4 の取得者として、また、神奈川県卓球協会の理事長として、指導者資格養成講座の座学講師を8年間務め、指導者の養成・育成に尽力した。また日本知的障がい者卓球連盟の強化部長職を務め、リオ・パラリンピックに2名の代表選手を輩出するために尽力した。その功績は誠に顕著である。
氏名	巽谷 泰子
資格名	体操コーチ 2 ・エアロビックコーチ 1
主な功績	地域の健康体操サークル、市町村主催親子体操教室、高齢者健康体操の指導活動を行い、その指導力は高く評価されている。2007年神奈川県体力づくり体操連盟理事・事務局長に就任し、指導者の養成・更新研修事業の開催、その申請・報告事務、及び指導者の登録・更新の記録も全うするなど、同連盟の組織化、活動推進に尽力した。パソコンによりシステム化に大きく貢献した。その功績は誠に顕著である。

氏名	勝見 公明
資格名	山岳コーチ2
主な功績	富士山登山道の美化清掃登山を35年間高校山岳部を率いて実践、環境美化活動を啓発した。1989年には神奈川県、パキスタンヒンドークシュ登山隊に参加、5000m未踏峰に挑戦、ゴラズム峰5100mに登頂した。山岳上級指導員（現コーチ2）、クライミングC級審判を取得しており、現在、神奈川県山岳連盟競技委員会委員、審判として活動している。その功績は誠に顕著である。
氏名	東 美奈子
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	永年にわたり地域の指導者としてジュニアから高齢者までの生涯スポーツとして普及と発展に貢献し活発に活動している。また、神奈川県なぎなた連盟の会計・監査・理事として適切に勤め普及発展のため尽力した。その功績は誠に顕著である。
氏名	若林 武正
資格名	アーチェリーコーチ1
主な功績	永年にわたり、神奈川県高等学校体育連盟アーチェリー専門部委員長として高校生の指導にあたり、全国高等学校総合体育大会アーチェリー競技大会にて団体優勝及び個人優勝に導くとともに、横浜市アーチェリー協会の会長として後進の指導育成にあたっている。その功績は誠に顕著である。
氏名	野田 ひろみ
資格名	バドミントンコーチ1・クラブマネージャー・ジュニアスポーツ指導員
主な功績	バドミントン競技指導者としてジュニアからシニアまで幅広く活動するとともに、総合型地域スポーツクラブのクラブマネージャーとしてクラブ運営に尽力し、上部競技協会との繋ぎ役として、その情報を生かした活動は他の指導者の模範となっている。その功績は誠に顕著である。
氏名	宮下 代至司
資格名	卓球コーチ1
主な功績	横浜市戸塚区卓球協会及び綾瀬市卓球協会において卓球教室の開催や、クラブチームの育成に努め、綾瀬市と大和市の中学校の部活動コーチでは関東大会3回の出場を果たした。現在も綾瀬市内外の中学生のクラブを作って指導するほか一般の卓球グループや個人に教えている。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山梨県スポーツ協会

氏名	金丸 健
資格名	スポーツプログラマー
主な功績	南アルプス市体育協会の評議員・理事を務め、地域での体育・スポーツの普及に尽力した。また、地域スポーツ少年団におけるテニスの指導にも尽力した。山梨県スポーツ指導者協議会峡中支部の理事を長年務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。
氏名	勝俣 進
資格名	サッカーコーチ4
主な功績	富士吉田体育協会（現スポーツ協会）の副会長、富士吉田市スポーツ振興審議会委員を務め、地域での体育・スポーツの普及に尽力した。また、富士吉田市サッカー協会会長、山梨県サッカー協会理事やJリーグヴァンフォーレ甲府の初代監督を務めるなど専門競技とするサッカーの発展にも尽力した。山梨県スポーツ指導者協議会の副会長を長年務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。
氏名	河西 弘三
資格名	カヌーコーチ3
主な功績	山梨県カヌー協会の理事、日本カヌー連盟の指導者育成委員会委員、スプリント競技運営委員会委員長を務め、カヌー競技の普及強化に尽力した。また、カヌーコーチ3として地元カヌークラブにおけるカヌーの指導にも尽力している。山梨県スポーツ指導者協議会の理事を長年務め、地域におけるスポーツ振興の功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長野県スポーツ協会

氏名	内山 了治
資格名	陸上競技コーチ 4
主な功績	陸上競技を1983年から高校生に指導し全国大会等で活躍する選手を育成した。1994年からは高等専門学校で指導し全国高等専門学校体育大会優勝等の成績をおさめる選手を多数育成するとともに、2015年には日本高専陸上競技協会を立ち上げ全国の高等専門学校アスリートの組織化を図った。また、2015年からは長野陸上競技協会代表理事として組織を強化している。

推薦団体：公益財団法人 新潟県スポーツ協会

氏名	今井 浩二
資格名	山岳コーチ 1・スポーツクライミングコーチ 2
主な功績	2000年から現在まで一貫してジュニアの発掘と育成に取り組み、持ち前の行動力とわかり易い適切な指導で国民体育大会に13回指導した選手が出場を果たしている。また、選手だけでなく若手指導者の育成にも取り組み、成果をあげている。労を惜しまない実直な人柄で選手や保護者からの信頼も厚く、新潟県スポーツクライミング部門では欠くことのできない指導者である。
氏名	小林 芳宏
資格名	水泳コーチ 2 マスター
主な功績	指導者として、自身の研鑽にも熱心に取り組んでいる。現場経験を活かした実践的指導力は最高レベルであり、新潟県の水泳の普及活動に欠くことのできない重要な人材である。各種講習会・研修会において、水泳の特性と歴史の講義や横泳ぎの実技指導の責任者を継続して担当し、さらには、研修会の企画・運営を通じて、新潟県の水泳指導者の指導力向上に尽力されており、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 富山県体育協会

氏名	齊藤 幸子
資格名	なぎなたコーチ 1
主な功績	永年にわたり、なぎなた競技の普及発展及び競技力強化に積極的に取り組むとともに、組織強化に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域における初級者指導や指導者育成などに携わり、地域におけるなぎなた競技の発展に尽力した。
氏名	横山 直一
資格名	バドミントンコーチ 1
主な功績	永年にわたり、バドミントン競技の普及発展及び競技力強化に積極的に取り組むとともに、組織強化に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域における初級者指導や指導者育成などに携わり、地域におけるバドミントン競技の発展に尽力した。
氏名	竹田 聡
資格名	柔道コーチ 3
主な功績	永年にわたり、柔道競技の普及発展及び競技力強化に積極的に取り組むとともに、組織強化に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域における初級者指導や指導者育成などに携わり、地域における柔道競技の発展に尽力した。
氏名	林 哲広
資格名	ラグビーフットボールコーチ 1
主な功績	永年にわたり、ラグビーフットボール競技の普及発展及び競技力強化に積極的に取り組むとともに、組織強化に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域における初級者指導や指導者育成などに携わり、地域におけるラグビーフットボール競技の発展に尽力した。
氏名	川上 聡彦
資格名	ラグビーフットボールコーチ 4・アスレティックトレーナー
主な功績	永年にわたり、ラグビーフットボール競技等のアスレティックトレーナーとして、競技者の健康管理、外傷・傷害予防、救急処置、リハビリテーション等を担当した。また、スポーツドクター及びコーチとの緊密な協力のもとに、普及発展及び競技力強化に積極的に取り組むとともに、スポーツ組織強化に貢献した。

氏名	浅倉 日登美
資格名	ジュニアスポーツ指導員・ソフトボールコーチ1
主な功績	永年にわたり、ジュニアスポーツ指導員として馬術競技等の普及発展及び競技力強化に積極的に取り組むとともに、組織強化に貢献した功績は誠に顕著である。また、地域における初級者指導や指導者育成などに携わり、地域における馬術競技等の発展に尽力した。

推薦団体：公益財団法人 石川県体育協会

氏名	赤倉 和子
資格名	なぎなたコーチ1
主な功績	1986年から選手兼指導者として、石川県内でのなぎなた競技の普及、強化に携わり、高等学校体育連盟を中心としてジュニア強化を図った。永年にわたって指導者、審判員として、全国レベルまでの実力をつけさせたその功績は誠に顕著である。
氏名	中越 早代
資格名	なぎなたコーチ3
主な功績	1986年から石川県なぎなた連盟強化部で選手兼指導者として、なぎなた競技の普及、強化に携わり、高校部活動を通してジュニア強化を図った。地域の競技力アップの為、自ら指導者として講習会を開催して、普及に尽力したその功績は誠に顕著である。
氏名	井村 和彦
資格名	柔道コーチ3
主な功績	公認スポーツ指導者資格B級コーチ（現コーチ3）を早い段階で取得し、永年にわたり石川県柔道連盟の常任理事を務め、柔道の指導育成及び組織化に尽力している。また、国民体育大会の監督（少年男子及び少年女子）として競技力の向上にも携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	川端 修
資格名	弓道コーチ2
主な功績	永年にわたり、能美市根上町はもとより、職域であった高等学校、短期大学、そして石川県弓道連盟の中枢役員として指導、企画、交流等あらゆる面で輝かしい活動をされた。またその経験を活かし、選手育成においても全国高等学校総合体育大会、国民体育大会、全日本弓道選手権大会等の全国大会へ出場し活躍する幾多の選手に修練の目的を説き、射品、射格の向上に努めた。そして自らも1985年全国高等学校総合体育会弓道競技委員長・1998年全国日本教職員弓道選手権大会運行委員長として二度の全国大会を成功裏に運営した。
氏名	川口 信夫
資格名	銃剣道コーチ1
主な功績	2003年銃剣道コーチ1を取得し、その知識、技量、経験を活かして指導に当たり、特に2009年から白山市スポーツ少年団銃剣道クラブにおいて少年少女の育成に指導力を発揮した。2011年から現在まで石川県銃剣道連盟の理事を務め、永年銃剣道連盟の運営に携わり、その功績は顕著である。
氏名	菊知 富次雄
資格名	卓球コーチ1
主な功績	1982年から石川県卓球連盟理事として、また2012年から現在まで石川県卓球連盟副会長として、石川県卓球界における事業運営、普及、強化に尽力した。さらに2014年から現在まで、石川県スポーツ指導者協議会の常任理事としても、その運営に協力した。

推薦団体：公益財団法人 福井県スポーツ協会

氏名	小阪 清吉
資格名	サッカーコーチ4
主な功績	永きにわたり、高校サッカー部の顧問として、少年選手の育成に尽力してきた。全国高校サッカー選手権大会へ計20回出場し、第76回大会には第3位を獲得した。少年男子監督として国民体育大会へも6回出場し、1991年には第3位を獲得、高円宮杯全日本ユースサッカー選手権大会へも3回出場し、1989年には第3位を獲得した。また、1996年からは福井県サッカー協会の理事長および参与として組織運営に貢献し、普及・発展に取り組んでいる。

氏名	今村 邦昭
資格名	卓球コーチ4
主な功績	永きにわたり、卓球競技の指導者として、特にジュニア選手の育成に尽力している。2000年には、クラブチーム（ミナミ卓球ラボ）を立ち上げ、数多くの国民体育大会選手を輩出している。また、福井県卓球協会の強化指導部長、理事長として、組織運営に貢献し、普及・発展に取り組んでいる。
氏名	榮 修一
資格名	柔道コーチ3
主な功績	永きにわたり、福井県柔道連盟強化部副部長をはじめ、クウェート国での柔道指導、社会人に対する柔道指導、国民体育大会成年男子監督、福井県警察柔道師範として国内外で選手の育成に尽力してきた。また、2008年からは福井県柔道連盟理事長として、組織運営に貢献し、普及・発展に取り組んだ。現在も福井県柔道連盟常任理事として組織運営に携わっている。
氏名	清水 寛之
資格名	ボートコーチ3
主な功績	永きにわたり、中・高校部活動顧問として、少年選手の育成に尽力している。これまでに、全国高等学校総合体育大会や国民体育大会で幾度も優勝を取め、10名以上もの日本代表選手を輩出している。また、福井県ボート協会理事、同協会強化副部長として組織運営に貢献し、普及・発展・育成に取り組んでいる。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	吉金 清文
資格名	ボウリングコーチ1
主な功績	1995年に津島市ボウリング連盟が結成され、その組織の立ち上げに中心的な役割を担い、その後、会長職として組織の充実、発展に貢献した。また、津島市体育協会の役職を歴任するとともに、スポーツボウリングの指導者として、永年にわたり津島市でのボウリング行事の運営に携わり、その功績が評価され、津島市及び津島市体育協会から表彰を受けた。
氏名	甲斐 伸一
資格名	ライフル射撃コーチ3
主な功績	2001年度から愛知県ライフル射撃協会の理事を務め、2010年度からは副理事長として同協会の運営に携わるとともに、公認コーチ（現コーチ3）として愛知県の高校及び大学の射撃部員の指導にあたり、国民体育大会のライフル射撃競技の監督を務めるなど、競技力の向上に貢献しており、その功績は顕著である。
氏名	榎本 幹夫
資格名	弓道コーチ2
主な功績	刈谷市弓道連盟の副会長、会長を務め、同連盟の研修会等行事運営に携わるとともに会員の指導育成に努め、同市における弓道の普及発展に果たした功績は誠に顕著である。また、愛知県弓道連盟常務理事、副会長として国民体育大会の選手強化に果たした功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 三重県スポーツ協会

氏名	院南 麻由美
資格名	剣道コーチ2
主な功績	1983年から37年間地域の少年指導を続けている。少年剣士の健全育成だけでなく、指導者の育成にも尽力し、指導してきた子供たちが指導者になるなど、地域の少年育成を次の世代に受け継いでいく役割を担っている。三重県剣道連盟においては初の女性理事として、女性の目線から連盟行事に携わり、自身も選手として大会に出ることで子育て世代の女性剣士に剣道を続けていく道を示してきた功労者である。
氏名	柳川 弘行
資格名	ボウリングコーチ4
主な功績	1983年から三重県ボウリング連盟理事に就任し、2019年からは理事長を務めている。1993年に公認C級コーチ（現コーチ3）を取得し、国民体育大会三重県代表選手の指導、育成に努めている。第71回国民体育大会（岩手県）では、少年男子監督を務め団体戦優勝を果たした。永年にわたりボウリング競技の普及指導に携わり、その功績は誠に顕著である。

氏名	柳川 穂波
資格名	ボウリングコーチ3
主な功績	1999年から三重県ボウリング連盟理事を務め、2003年に公認C級コーチ（現コーチ3）を取得し、国民体育大会三重県代表選手の指導、育成に努めている。第74回国民体育大会（茨城県）では成年女子監督を務め、団体戦優勝を果たした。桑名高等学校ボウリング部の外部指導者も務め、永年にわたりボウリングの普及指導に携わり、その功績は誠に顕著である。
氏名	山口 哲治
資格名	スキーコーチ2
主な功績	永年にわたり三重県スキー連盟及び桑名市スキー協会の役員として、スキー教室等の企画・運営に携わり、地域のスノースポーツの普及・発展に尽力している。また多くの上級者育成を行うとともに、組織づくりにおける貢献も誠に顕著である。
氏名	中井 美奈子
資格名	ゲートボールコーチ1
主な功績	永年にわたり三重県ゲートボール連合会の理事及び女性部長としてゲートボール競技の普及と振興に寄与している。また、同連合会の審判員資格試験の試験委員として指導者育成にも尽力している。
氏名	天野 晴夫
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	2002年から三重県ソフトテニス連盟の副理事長・理事長を務め、組織の運営に尽力している。またジュニア層の指導においても、直接指導をするだけでなく、県内指導者の組織化に尽力した。日本ソフトテニス連盟でも評議員・マネジメント部員として、競技者育成プログラム発足当初から運営に携わっており、その功績は誠に顕著である。
氏名	大井 和夫
資格名	アスレティックトレーナー・陸上競技コーチ1
主な功績	2001年から2004年まで、日本陸上競技連盟の強化担当トレーナーとして選手のコンディショニングに携わり、また2005年から現在まで地元の小学生から高校生を中心とした陸上競技のクラブを立ち上げ、指導を行っている功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 岐阜県スポーツ協会

氏名	栗本 範幸
資格名	ソフトテニスコーチ1
主な功績	岐阜県ソフトテニス連盟の役員の主に競技委員会の責任者として岐阜県内で行われる各種大会（県、東海、西日本、全国）の運営に指導的かつ積極的に携わってきた実績は多大である。また、岐阜市立三輪中学校の社会人コーチとして永年指導を行っており、国民体育大会選手の育成をはじめとし、技術的指導のみならず、人間形成も含め選手や保護者からも慕われる人間性は非常に評価できる。
氏名	酒井 和康
資格名	ラグビーフットボールコーチ1
主な功績	美濃加茂市スポーツ少年団の理事、理事長を35年間にわたり歴任。2015年にはNPO法人可茂ラグビー倶楽部の設立に尽力し、理事長に就任。また、岐阜県ラグビーフットボール協会のスクール委員として17年、現在も活躍するなど、同協会の発展に大きく貢献し、指導者としても幼児から小学生選手のみならず、後進指導者の育成にも寄与している。
氏名	鷺見 勝彦
資格名	ライフル射撃コーチ3
主な功績	1989年から岐阜県ライフル射撃協会の理事長に就任。岐阜県教育長に「本県の競技力向上に向けた方策書」を提出。全国に先駆けジュニア育成を始め県内高校射撃部を5校に増やす一方、小・中学生向け「BR射撃教室・体験会」を開催してジュニア選手の発掘と育成・普及に努め多くの優秀選手を輩出した。県内に県営射撃場の無い県でありながら国民体育大会で常に天皇杯・皇后杯で上位入賞を果たす強豪県に育てた。

氏名	民谷 千寿子
資格名	バドミントンコーチ 2
主な功績	2002年に公認スポーツ指導者資格を取得し、地元の中中学生から一般の指導を行う一方、1984年に岐阜県家庭婦人連盟の組織化に役員として加わり、1989年から現在に至るまで理事長を務め、県レディース連盟の発展に尽力した。2013年から日本レディースバドミントン連盟理事長、2019年から同副会長に就任し、県内のみならず、国内の家庭婦人連盟・レディース連盟の組織化・競技力向上のため、永年にわたり多大な貢献をした。
氏名	藤田 充男
資格名	バレーボールコーチ 1
主な功績	岐阜県バレーボール協会の役員として永年にわたり協会運営に携わってきた。特に2012年第67回国民体育大会（岐阜県）では同協会競技委員長として計画・準備・運営を行い成功に導いた。また、各務原市を中心に、学生のバレーボール教室を積極的に行い、学生や社会人で活躍する選手及び指導者の育成・普及に貢献している。その功績は誠に顕著である。
氏名	藤野 柳一
資格名	剣道コーチ 1
主な功績	養老町内のスポーツ少年団及び中学、一般の剣道対象者に対し、永年にわたり指導にあたりともに剣道普及に尽力し、2002年からは、岐阜県剣道連盟の役員としても活躍している。

推薦団体：公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

氏名	坂出 良彦
資格名	銃剣道コーチ 1
主な功績	1991年滋賀県銃剣道連盟の理事に就任以来選手兼指導者として各種大会に参加し、良好な成績を獲得するとともに指導者として、後輩会員の育成に努めた。2011年滋賀県銃剣道連盟の選手強化・競技部長に就任以来、各種強化合宿の企画等により選手強化に尽力し、競技力向上を図った。特に、少年男子を第69回国民体育大会（長崎県）4位、第72回国民体育大会（愛媛県）2位に入賞させるなど、その功績は誠に顕著である。
氏名	大谷 光子
資格名	体操コーチ 1
主な功績	永年、指導者として体操競技に携わり、小学生から一般までを対象に選手の育成・強化、体操競技の啓発・普及振興に努める。1981年から現在にいたるまで草津市体操教室で指導を行っている。また、滋賀県スポーツ指導者協議会の理事及び常任理事（10年間）を務め、その運営に携わった功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 京都府スポーツ協会

氏名	柏原 定郎
資格名	空手道コーチ 4 マスター・ジュニアスポーツ指導員・アシスタントマネジャー
主な功績	京都府綴喜郡空手道連盟設立からの職務を精力的にこなし、京都府空手道連盟の組織の充実発展・普及に貢献している。また、全日本空手道連盟剛柔会山城道場にて幼児から一般の道場生を指導・選手育成に尽力し京都府の空手道界普及・発展に努力している。そして空手道コーチ4資格を取得し指導者として斯道に功績顕著である。

推薦団体：公益財団法人 大阪府スポーツ協会

氏名	大林 優未緒
資格名	空手道コーチ 4
主な功績	大阪府空手道連盟加盟団体において、永年にわたりその職務に精励し加盟団体の事業運営と育成指導に尽力し、全国大会出場選手を多数育成、現在大阪市空手道連盟理事長、大阪府空手道連盟技術委員会技術副委員長としてスポーツ振興と加盟団体の発展に多大なる貢献をしている。
氏名	香川 政義
資格名	空手道コーチ 2
主な功績	大阪市空手道連盟加盟団体において、永年にわたりその職務に精励し加盟団体の事業運営と育成指導に尽力し、全国大会出場選手を多数育成、現在大阪市空手道連盟常任相談役としてスポーツ振興と加盟団体の発展に多大なる貢献をしている。

氏名	山田 忍
資格名	ソフトボールコーチ 1
主な功績	自団の組織強化とともに、大阪市スポーツ少年団の広報的役割を担い、ソフトボール部会を創設し、組織の拡充と発展に本部役員として、29年間の永きにわたり多大な貢献をするとともに、大阪市がスポーツ少年団事務局を担わなくなる中で、サッカー部会事務局を担当し、地域の青少年の健全育成に貢献している。

推薦団体：公益財団法人 兵庫県体育協会

氏名	青石 尚子
資格名	水泳コーチ 3
主な功績	アーティスティックスイミング日本ナショナルチームでの経験を生かし、第48～73回国民体育大会では、兵庫県代表チーム監督を務め、上位入賞させるなど、その功績は顕著である。永きに渡り選手強化・育成に尽力し、その功績を称えられ、兵庫県体育協会優秀指導者賞、日本水泳連盟有功章を受章している。
氏名	宮永 正俊
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	兵庫県立高等学校の教諭として、永きにわたり選手育成に努め、優秀な選手を輩出してきた。兵庫陸上競技協会では、20年以上理事を務め、現在は同協会専務理事として活躍中である。第61回国民体育大会（兵庫県）に向けて8年間、強化委員長を務め、天皇杯皇后杯とも優勝に導くなど、その功績は顕著である。
氏名	黒田 忠夫
資格名	剣道コーチ 2
主な功績	永きにわたり少年剣道指導に尽力し、現在では、地域の定例稽古会で一般社会人の指導も行うなど、活躍の場を広げている。兵庫県剣道連盟や神戸市剣道連盟の理事等の要職を歴任し、選手育成のみにとどまらず、組織づくりや環境整備に努めるなど、県内の剣道の普及に対する功績は顕著である。
氏名	岡森 成直
資格名	スキー教師
主な功績	スキー指導者として、技術力の向上に尽力し、万場スキー学校長を務めるなど、選手の育成、スキー競技の振興・発展に努めた。また日高町体育協会及び豊岡市体育協会などの役員を歴任し、スキー競技だけにとどまらず、地域のスポーツ振興に尽力するなどその功績は誠に顕著である。
氏名	金治 義昭
資格名	ソフトテニスコーチ 1
主な功績	東芝姫路ソフトテニス部の監督を52年にわたって務め、全日本実業団選手権で19度、日本リーグで15度の優勝に導く。また全日本女子チームの代表監督として、世界選手権を6度制覇するなど、その功績は顕著である。日本ソフトテニス連盟などで要職を歴任し、現在では、日本ソフトテニス連盟名誉指導員として、ソフトテニスの発展に尽くしている。

推薦団体：公益社団法人 和歌山県体育協会

氏名	山本 安雄
資格名	バレーボールコーチ 1
主な功績	和歌山県バレーボール協会の副理事長、和歌山県小学生バレーボール連盟理事長、近畿小学生バレーボール連盟常任理事を歴任し、一貫して小学生バレーボールの指導普及及び育成に取り組んでいる。また、日本小学生バレーボール連盟の倫理委員長として体罰や暴力の根絶に取り組んだ。2005年以降バレーボール指導員（現コーチ1）養成講習会の講師を務め後進の育成に尽力している。
氏名	楠本 一彦
資格名	水泳教師 水泳コーチ 4
主な功績	1983年以降初心者からトップ選手と幅広く指導に携わり、オープンウォータースイミング世界ジュニア選手権出場選手や全国中学校水泳競技大会1500m優勝選手を育てるなどし、日本ナショナル合宿のヘッドコーチも務めた。また、長年、国民体育大会水泳競技（競泳）の監督を務めるなど、和歌山県内外の選手育成に尽力した。

推薦団体：公益財団法人 岡山県スポーツ協会

氏名	杉本 和弘
資格名	水泳コーチ2
主な功績	永年にわたり地域の水泳指導者の育成および水泳競技の普及・振興に携わってきた。現在、岡山県水泳連盟競技委員長として競技力向上、競技会運営に尽力されている功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 広島県体育協会

氏名	大川 敬洋
資格名	テニスコーチ2・テニス教師
主な功績	永年にわたり、高校生の指導にあたるほか、広島県テニス協会、広島市テニス協会の大会運営、普及振興に携わり、組織の基盤作りや発展に尽力している。また、講習会の講師を務めるなど、指導者の育成にも多大な貢献があり、その功績は誠に顕著である。
氏名	井澤 継男
資格名	銃剣道コーチ2
主な功績	1982年に小奴可剣友会を設立し、指導者として多くの小・中・高校生を指導し、全国大会上位入賞者を輩出するなど、永きにわたり尽力している。また選手としても国民体育大会へ出場し入賞に貢献している。広島県のみならず中国四国地区の銃剣道の普及、発展に寄与しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	三上 貴子
資格名	バウンドテニスコーチ1
主な功績	広島の地でバウンドテニスの普及を開始した当初から指導者として技術指導を行い、大野町（現在は廿日市市）バウンドテニス協会設立に続き、1989年に広島県バウンドテニス協会を設立するなど、組織拡充と発展にも永きにわたり尽力している。また近年ではジュニア層への普及にも力を注ぐなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 山口県体育協会

氏名	徳本 信治
資格名	水泳コーチ1
主な功績	永年にわたり高校・大学と日本のトップ選手として活躍するとともに、周南市水泳連盟の役員・指導者として、水泳の普及・振興に尽力した。特に1982年から周南市の子どもたちへの水泳教室を企画・継続開催し、指導者として地域における水泳競技の発展に寄与している。その功績は誠に顕著である。
氏名	砂川 利和
資格名	柔道コーチ3
主な功績	永年にわたり山口刑務所柔道部の監督として若手職員の指導・育成に当たってきた。また、地元のスポーツ少年団の代表として、小中学生の育成に貢献し、2012年から現在まで、萩市にある至誠館大学非常勤講師として柔道の指導も行っている。1998年から山口県柔道協会の理事として会員の指導・育成に尽力し、2013年からは副会長、2020年からは会長として山口県内の柔道発展に寄与している。その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 香川県スポーツ協会

氏名	半田 和士
資格名	ソフトボールコーチ2
主な功績	1980年から地元クラブチームを立ち上げ、その後は壮年チームも編成し、多くの選手育成に努めた。また、第1種公認審判員資格を取得し、大会運営に協力するなど協会の普及発展に大きく貢献している。香川県ソフトボール協会では、2020年度から総務委員長としても組織運営に尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	花城 正樹
資格名	ウエイトリフティングコーチ3
主な功績	1990年に高校指導者兼選手として香川県に赴任した。また、当時から香川県ウエイトリフティング協会の理事として協会運営にも携わってきている。指導現場においては、高校生の大会で複数の優勝者を輩出し、その手腕を大いに発揮している。審判委員長としても大会運営に尽力するとともに、審判員や指導者の資格取得を推進して審判員や指導者の育成にも努めており、その功績は誠に顕著である。

氏名	十河 利雄
資格名	山岳コーチ4マスター
主な功績	山岳コーチとして後進の指導を行い、アルパインクライミングの普及や技術の向上に尽力した。また、永年にわたり香川県山岳連盟の役員として、登山者の組織化や加盟山岳会の運営の活性化を行うとともに山岳遭難の防止や安全登山の普及にも尽力した。
氏名	花房 順子
資格名	アスレティックトレーナー
主な功績	1980年からジュニアの基礎運動能力向上のための指導を行い、2002年の公認アスレティックトレーナー資格取得後は、ジュニア選手の育成や中高年の健康づくりに積極的に関わっている。2011年に公認アスレティックトレーナー香川県協議会の会長となった後、アスレティックトレーナーの職域拡大や知名度向上のために尽力しており、その功績は誠に顕著である。
氏名	岡 宏彰
資格名	陸上競技コーチ3
主な功績	高校の教員として、長年生徒の指導に携わり、数々の全国レベルの選手を育成してきている。2010年には、日本陸上競技連盟の高校優秀指導者章を受章するとともに、国民体育大会陸上競技における、香川県の監督・コーチ・事務担当も務め、陸上競技の強化に尽力した。また、香川県高等学校体育連盟陸上競技部の専門委員長も務め、香川県の高校生陸上競技の発展にも寄与した。

推薦団体：公益財団法人 徳島県スポーツ協会

氏名	三木 敏之
資格名	バレーボールコーチ2
主な功績	学生時代から徳島県の主力選手として活躍し、その後、指導者として、永年にわたり地域や職域におけるバレーボール競技の普及・振興並びに競技力の向上に取り組むとともに、徳島県バレーボール協会の要職（現在は参与）を歴任し、同協会の組織化に尽力する等、その功績は誠に顕著である。
氏名	高原 清秀
資格名	陸上競技コーチ2
主な功績	2005年に陸上競技上級指導員（現コーチ2）の資格を取得し、永年にわたり選手の育成に努めた。また、徳島陸上競技協会、徳島県高等学校体育連盟の運営に永年携わり、現在は徳島陸上競技協会副会長を務める等、その功績は誠に顕著である。
氏名	八張 慎
資格名	ホッケーコーチ3
主な功績	1991年から阿南工業高校ホッケー部・富岡西高校ホッケー部を指導し、幾度も四国大会優勝に導き全国大会出場を果たしている。また、2006年からU-18ユース日本代表コーチングスタッフとして世代別の世界大会に参加し、未来の日本代表の育成にも大いに貢献している。さらに、徳島県ホッケー協会の要職（現在は会長）を歴任し、協会の組織化と並行してホッケー競技の発展に尽力する等、その功績は誠に顕著である。
氏名	竹林 義浩
資格名	水泳コーチ4マスター・水泳教師
主な功績	水泳競技の指導者として、これまでに徳島県から3名のオリンピック選手を輩出する等、その卓越した指導力は県内外から高い評価を受けている。また、徳島県水泳連盟の要職（現在は理事長）を歴任し、連盟の組織化に尽力するとともに、地域における水泳競技の発展に大きく貢献する等、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

氏名	松本 亮一郎
資格名	馬術コーチ3
主な功績	永年にわたり、馬術競技の指導者として活躍し、愛媛県馬術連盟の会長に就任し同連盟の組織の充実・発展に多大の貢献をしている。また地域において青少年の指導と新居浜市馬術協会常任理事として馬術競技の普及と発展に尽力している。

氏名	村上 礼
資格名	なぎなたコーチ 3
主な功績	永年にわたり、なぎなた競技の指導者（高校部活動）として活躍し数多くの選手を全国大会に出場し、優勝に導いた。また、現在愛媛県なぎなた連盟理事長として組織を統括し、国民体育大会に向けて、競技力向上となぎなた競技の普及・発展に尽力している。
氏名	曾我部 信和
資格名	空手道コーチ 2
主な功績	永年にわたり、空手道の指導者として活躍し 愛媛県空手道連盟の常任理事・副理事長に就任し同連盟の組織の充実・発展に多大の貢献をしている。また、地域において青少年の指導と新居浜市空手道協会会長として空手道の普及と発展に尽力している。
氏名	木野 昭美
資格名	なぎなたコーチ 1
主な功績	永年にわたり、愛媛県なぎなた連盟の役員・指導者として活躍し、指導した選手を全国大会で優勝させている。特に、スポーツ少年団を育成し、なぎなた競技の底辺拡大及び普及・発展・競技力向上に尽力している。
氏名	大野 典子
資格名	新体操コーチ 3
主な功績	永年にわたり、新体操競技の指導者として活躍、愛媛県体操協会理事を務め、組織の充実に貢献している。指導活動においては、全国で活躍できるジュニア・シニアの選手育成に努め、競技力向上に尽力している。

推薦団体：公益財団法人 高知県スポーツ協会

氏名	刈谷 洋一
資格名	ライフル射撃コーチ 4 マスター
主な功績	高知県ライフル射撃協会設立（1968年）に尽力し、以降事務局長、理事長、副会長を歴任し、同協会発展に多大な貢献をした。上級コーチ（現コーチ4）資格取得（1977年）以降、永年にわたり多数の選手を指導し、国民体育大会入賞、全日本入賞、高校選手権優勝へと導いた。また、障害者射撃において、フェスビッククアラルンプール大会（2006年）以降、北京パラリンピック、パラ世界選手権大会等のコーチとして指導した。
氏名	北村 和代
資格名	水泳コーチ 2
主な功績	2001年から2020年の19年間の長きに渡り、基礎水泳指導員養成講習会にて、講師・検定委員として指導員養成に尽力し、また高知県水泳連盟の常任理事（庶務業務）として組織に協力し、現在も組織の一員として活躍中である。

推薦団体：公益財団法人 福岡県スポーツ協会

氏名	魚住 俊治
資格名	ラグビーフットボールコーチ 1
主な功績	1985年から少年・女子など主にジュニア層へラグビーフットボールの指導を始める。2007年から福岡県ラグビーフットボール協会副会長・福岡市ラグビーフットボール協会の会長として競技の振興発展に尽力した。また福岡県スポーツ協会でも常務理事・普及開発委員長などを歴任し、福岡県のスポーツ推進に大きく貢献した。
氏名	合瀬 武久
資格名	テニスコーチ 4
主な功績	1984年に福岡県ジュニアリーグを発足させ、1992年に九州テニス協会普及指導委員長に就任し福岡県のみならず九州のテニス競技の発展に尽力した。2001年には福岡県テニス協会、2009年には九州テニス協会の理事長に就任し普及活動に大きく貢献した。またトーナメントディレクターとしての功績も顕著で福岡県競技力向上に貢献している。

氏名	上原 尚子
資格名	空手道コーチ 3
主な功績	1975年に空手道教室を立ち上げてから現在まで主にジュニアから中学生の指導を行っている。特に近年では中学校での武道指導で授業に携わり資質向上に努めている。また福岡県空手道連盟の事務局長、福岡地区連盟の理事を歴任し、現在も福岡市空手道連盟の常任理事として競技力向上や普及に尽力している。
氏名	浦部 好富
資格名	テニスコーチ 2
主な功績	1990年からジュニアから中高年の層まで幅広い世代にテニスの指導を行い、地域のテニス競技の発展や普及に尽力し、2010年から福岡県テニス協会の常務理事を務めている。またマナーキッズプロジェクト福岡県支部の支部長として幼稚園児や小学校児童に対して積極的に活動を行い、笹川スポーツ財団「SSFスポーツアワード2010」も受賞している。
氏名	吉岡 一博
資格名	陸上競技コーチ 1
主な功績	1980年から中学校において陸上競技の部活動を指導した。日本陸上競技連盟公認審判員（S級）も取得し、現在も活躍している。1991年から福岡県中学校体育連盟陸上競技専門部長として中学陸上競技の資質、競技力の向上に尽力した。現在も北九州市陸上競技協会監事として組織の運営に貢献している。
氏名	末永 信一
資格名	水泳教師・水泳コーチ 4
主な功績	1985年に水泳競技の指導を始め、選手育成や全国大会等での実績、組織運営など様々な場面で活躍し1999年、2016年には福岡県水泳連盟から感謝状が贈られている。2006年からは福岡県水泳連盟理事、2010年からは常務理事を務め水泳競技全体に貢献した。また、2020年に飯塚市水泳協会の社団法人化に尽力し、競技指導のみならず組織作りにも大きく貢献している。
氏名	飛永 康博
資格名	体操コーチ 2
主な功績	1972年から久留米市を中心に体操競技の指導を開始し久留米市の体操競技の向上に尽力した。また、久留米市体操協会の理事、理事長、会長を歴任し競技力だけでなく、競技全体への貢献などの実績からふるさと市民賞（地域スポーツ振興）を受賞した。
氏名	福留 富枝
資格名	スケートコーチ 4
主な功績	1971年から北九州市を中心にフィギュアスケートの指導を始め、国民体育大会強化選手の強化指導を現在もやっている。また、1992年からJOC強化スタッフとしてオリンピック出場選手の指導やサポートを行うなど長きにわたる選手育成の功績が高く評価されスポーツ振興功労者表彰など数多くの受賞歴もある。また福岡県スポーツ協会の競技力向上委員会の副委員長として組織強化にも尽力している。

推薦団体：公益財団法人 佐賀県スポーツ協会

氏名	松尾 正一郎
資格名	テニスコーチ 3
主な功績	佐賀県テニス協会強化委員長として、永年国民体育大会の選手強化に尽力し、同協会理事長在任中の2008年第63回国民体育大会（大分県）では成年男子3位入賞、2010年第65回国民体育大会（千葉県）では成年男子優勝という好成績を収めた。また、1974年の佐賀県テニス協会理事就任時から、永年にわたり同協会の組織作り・テニス界の発展に大きく貢献し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	山田 秀人
資格名	バレーボールコーチ 2
主な功績	佐世保市バレーボール協会会長、長崎県バレーボール協会副会長として、バレーボール競技の普及・発展に寄与してきた。また、長崎県スポーツ指導者協議会委員として、指導者の育成に貢献しており、今後もさらなる活躍が期待される。

氏名	林田 和憲
資格名	ソフトボールコーチ 3
主な功績	長崎県ソフトボール協会常任理事、九州ソフトボール協会理事、日本ソフトボール協会常任理事として、ソフトボール競技の普及・発展に寄与してきた。また、長崎県高等学校体育連盟ソフトボール専門委員長及び全国高等学校体育連盟ソフトボール専門部副部長として、ソフトボールの競技力向上に貢献している。現在も、地域における指導を行っており、さらなる活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 熊本県スポーツ協会

氏名	池田 政秀
資格名	サッカーコーチ 2
主な功績	熊本県サッカーの変革の時期にトレセン活動の組織化・充実を図り、U13・U14・U15のカテゴリー毎の取り組みを具体化し、現在の同県トレセン活動の基礎を作った。また、熊本県サッカー協会理事・3種(中学)委員長として熊本県のみならず、九州の中学校サッカー界の中核的人材として指導力を発揮。永年にわたってU-15の指導に携わり、熊本サッカーの普及・強化に尽力したその功績は誠に顕著である。
氏名	福永 政民
資格名	水泳コーチ 1
主な功績	永年にわたり、熊本市水泳協会の理事長として同協会の健全運営に尽力しており、現在は会長として地域スポーツの振興、推進に寄与している。また、永年地域の小中学生指導にも携わり、人材育成、競技の普及、発展に尽力している。今なお、現役スイマーとして競技の魅力を発信し続け、今後さらなる活躍が期待される。
氏名	後藤 義雄
資格名	サッカーコーチ 1・アシスタントマネジャー
主な功績	永年にわたり、熊本県スポーツ指導者協議会の理事、副会長(理事長兼務)として、熊本県内の公認スポーツ指導者の資質向上に尽力し、専門種目であるサッカー競技においても熊本県サッカー協会理事として携わり、特に地域におけるジュニア育成に力を注いでいる。また、総合型地域スポーツクラブ「クラブおおづ」の組織化にも携わるなど、熊本県の地域スポーツ普及、振興、発展に寄与し、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 大分県スポーツ協会

氏名	木村 由美
資格名	バレーボールコーチ 1
主な功績	1998年から別府ブロック、2012年から大分県スポーツ指導者協議会の役員として各種事業の運営に協力。専門とするバレーボール競技では、別府市ママさんバレーボール連盟及び別府市バレーボール協会運営や普及に尽力。また、1988年から別府市のスポーツ推進委員として地域のスポーツ振興にも貢献している。

推薦団体：公益財団法人 宮崎県スポーツ協会

氏名	長友 利憲
資格名	山岳コーチ 2
主な功績	1979年の第34回国民体育大会(宮崎県)以降、一般の方を対象に安全登山教室を開催し、競技普及に尽力した。また、公認スポーツ指導者を対象に安全登山、遭難対策、海外登山の指導を精力的に行っている。その間、都城市や県連盟の要職を務め、競技普及や同連盟の発展に大きく貢献した功績は顕著である。
氏名	熊谷 廣幸
資格名	陸上競技コーチ 1
主な功績	児湯郡陸上競技協会常任理事等を30年歴任し、宮崎陸上競技協会功労賞を受賞した。また、地域での小中学生への指導を24年行うなど、その功績は顕著である。特に、2019年の第74回国民体育大会(茨城県)陸上競技、成年少年男子共通4×100mリレーで優勝した選手の育成・指導にも長年関わった。
氏名	森崎 忠信
資格名	空手道コーチ 4・ジュニアスポーツ指導員
主な功績	1981年から宮崎市において空手道指導を始め、現在も継続し、指導を行っており、地域における空手道の普及や競技力向上に貢献している。組織活動においては、2004年から現在まで理事として宮崎県空手道連盟段位部会長を務める等、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県体育協会

氏名	橋元 幸公
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	鹿児島県の中学校や高等学校に勤務する中で、部活動の指導における選手の育成・強化に尽力し、全国クラスの優秀な選手を多数輩出してきた。また、県内の中学校及び高等学校の陸上競技専門部の主要な役職を務め、鹿児島県の陸上競技の普及振興に多大な貢献をし、文部科学省の優秀教員表彰をはじめ日本陸上競技連盟及び鹿児島陸上競技協会の優秀指導者賞を受賞しており、輝かしい実績を誇る。
氏名	山王 修一
資格名	弓道コーチ 2
主な功績	鹿児島県弓道連盟の理事や専務理事兼事務局長、全九州弓道連盟連合会事務局長を歴任し、団体の組織強化・指導体制の充実に意欲的に取り組んでいる。また、鹿児島県内における昇段審査の審査委員や各種弓道大会の審判員および各地の講習会の講師を務めるなど弓道競技の振興・発展に貢献している。何事にも前向きに誠実に取り組む姿勢は、他の模範となっている。
氏名	井之上 三郎
資格名	銃剣道コーチ 1
主な功績	自衛官勤務時に選手・監督として技能・指導力を大いに発揮した。鹿児島県銃剣道連盟の少年指導担任として競技力向上に努め、第59回国民体育大会（埼玉県）8位、第63回国民体育大会（大分県）8位と多大な成果を収めた。九州ブロック大会審判員2回、九州地区銃剣道・短剣道大会審判員2回、全日本銃剣道連盟のコーディネーターとして青少年の発掘に努めるなど、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 沖縄県スポーツ協会

氏名	平野 貴也
資格名	セーリングコーチ 4 マスター
主な功績	沖縄県スポーツ協会理事・指導者委員会委員、沖縄県セーリング連盟理事を務め、競技会の運営、国民体育大会の監督を務めるなど組織化と競技力向上に永年貢献した。さらに沖縄県における国民体育大会選手の育成と指導、指導者資格に関する講習会の講師を多数務めるなどスポーツ指導者資格制度の確立と後進の育成に貢献し、その功績は誠に顕著である。

●中央競技団体推薦

推薦団体：公益財団法人 日本陸上競技連盟

氏名	浅見 美弥子
資格名	陸上競技コーチ 4
主な功績	永年にわたり大学生に対する陸上競技の指導に携わっている。また、日本学生陸上競技連合の女子委員会のメンバーおよび総務委員会委員長として、特に女性アスリートの環境整備に尽力された。また、日本陸上競技連盟においては指導者育成部副部長や女性委員会副委員長を歴任している。これらの功績から、2018年には秩父宮章を受章した。
氏名	小林 敬和
資格名	陸上競技コーチ 3
主な功績	永年にわたり陸上競技の指導に携わり、多くの選手育成に携わっている。特に日本陸上競技連盟においては1993年から強化、普及および指導者養成事業に携わり、各事業にて大きな実績をあげてきた。これらの功績から、2018年に秩父宮章を受章した。

推薦団体：公益財団法人 日本テニス協会

氏名	梅林 薫
資格名	テニスコーチ 4 マスター
主な功績	30年にわたり、テニス競技の発展に貢献してきた。特にtoto事業の、日本の9地域におけるコンディショニング事業では、長年各地域において地域メディカルサポート体制の整備のため、科学的根拠に基づく基礎的な医学情報の伝達・共有のための講習会を続けている。
氏名	村木 良博
資格名	アスレティックトレーナー (マスター)
主な功績	22年にわたって、安全で安心な大会運営のためのトレーナーの配備や安全管理体制確立の活動を行うなど、日本テニス協会に貢献している。数年前から検討し準備してきた、日本テニス協会認定トレーナー制度を2019年度に立ち上げ、さらに安全な大会運営に向けた活動を行っている。

推薦団体：公益財団法人 全日本柔道連盟

氏名	浅見 三喜夫
資格名	柔道コーチ 3
主な功績	1981年にハンガリー国際大会とチェコ国際大会で連続優勝を果たし、講道館杯2連覇するなど現役時代に輝かしい実績を残した。新田高校の教諭として、48kg級の世界チャンピオンになった浅見八瑠奈をはじめ、73kg級のロンドンオリンピック銀メダリストの中矢力など数多くの有力選手を育て上げてきた。技術面の向上だけでなく、柔道を通した人間教育を実践した永年にわたる柔道指導の功績は顕著である。

推薦団体：公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

氏名	川端 満
資格名	山岳コーチ 2
主な功績	青森県で永年、安全登山活動を行っている。1995年に公認スポーツ指導者資格を取得して、地域山岳会における登山技術の指導、国民体育大会山岳競技から小学生、一般登山者までの登山技術指導に携わり、2002年から青森県山岳連盟理事長、指導委員長、各種委員長を歴任し、現在は、青森県スポーツ協会の評議員も務めている。
氏名	植木 孝
資格名	山岳コーチ 2
主な功績	栃木県山岳・スポーツクライミング連盟で登山技術を習得し、2002年に公認スポーツ指導者資格を取得した。2000年から地域における安全登山指導および各種講習会の講師を務め、2007年には、同連盟の指導委員長に就任し現在も続けている。特に指導者の育成に力を注ぎ、山岳だけではなくスポーツクライミングの指導者育成も行っている。

氏名	瀬藤 武
資格名	山岳コーチ2
主な功績	所属する埼玉県のみならず日本全国で遭難防止啓発活動および遭難救助技術の指導を行ってきた。1994年に公認スポーツ指導者資格を取得して登山技術の指導も同時に行っている。1998年から埼玉県の遭難対策委員長、2001年からは日本山岳・スポーツクライミング協会の常任委員も務めている。また、2012年には平成23年度埼玉県体育賞功労賞も受賞している。

推薦団体：公益財団法人 全日本空手道連盟

氏名	高山 雅彦
資格名	空手道コーチ4マスター
主な功績	永年にわたり大修会同心館において空手道の指導を行い、地域の青少年の育成に尽力してきた。また、所属する大阪府空手道連盟において強化部に所属し選手強化を担当し、大阪府は全日本少年少女大会で文部科学大臣旗を複数回受賞する顕著な成績を収めるなど競技力の向上に大いに貢献した。

推薦団体：公益社団法人 日本カーリング協会

氏名	岩崎 幹雄
資格名	カーリングコーチ2
主な功績	1982年北海道滝川カーリング協会の発足及び普及指導に尽力した。併せて北海道空知管内におけるカーリングの普及した。さらには妹背牛カーリング協会の発足に協力（1987年）し、その後、北海道カーリング協会評議員・競技委員を歴任。審判員としても大会の運営、若手審判員を指導している。2006年からは妹背牛カーリング協会へ所属を移し、審判員・指導員として活躍し、現在に至る。

氏名	郡司 栄二
資格名	カーリングコーチ2
主な功績	永年にわたり指導、審判、整氷技術等の研鑽を重ね、自らの資質向上に努め、その成果をもって、長年にわたり地元協会で市民カーリング教室の講師を務め普及に貢献している。また、道外へ転勤時には九州地区代表チームの指導を務め、日本選手権大会において強豪と競えるチーム育成に貢献した。また、整氷技術を学び、室蘭のアイスアーリーナの過酷なアイスコンディション下でもカーリング競技を可能としたその功績は多大である。

氏名	砂連尾 佳司
資格名	カーリングコーチ2
主な功績	2004年から長野県御代田町においてカーリング少年団、あさまハイランドスポーツクラブの組織立ち上げに参加し理事に就任するとともに永年にわたり地元のジュニア選手を指導しカーリングの普及に尽力し現在に至る。審判としても各大会の競技運営に携わり若い選手の育成に力を注いできた。

推薦団体：公益社団法人 日本エアロビック連盟

氏名	三枝 京子
資格名	エアロビックコーチ1
主な功績	埼玉県エアロビック連盟の理事長として、永きにわたり県内のエアロビック普及の中心的な役割を果たすと同時に、現在地域支部を立ち上げ組織強化を図りながら、埼玉県スポーツ協会加盟を目指している。地域イベントの開催や地域で活躍する選手の育成他コーチ間の連携を図るなど、エアロビック全般の普及と推進を積極的に進めている。

氏名	藤野 恵美
資格名	エアロビックコーチ1
主な功績	岩手県エアロビック連盟の理事として、永きにわたり県内のエアロビック普及の中核的な役割を果たしている。特に幼児から高齢者まで幅広いのエアロビックの指導に関わるとともに、東日本大震災の被災者へ保健・医療・福祉と連携した健康支援を続けるなど、地域貢献に努めている。

【表彰の基準 第1号】スポーツドクター 18名

公認スポーツドクターとして、資格認定後15年以上にわたり、スポーツの普及振興に尽力し、顕著な功績が認められた方。

推薦団体：公益財団法人 青森県スポーツ協会

氏名	津田 英一
資格名	スポーツドクター
主な功績	永きにわたり国民体育大会青森県チームの帯同ドクター、県内スポーツイベントでの会場ドクターを担当し、メディカルサポート及び救護活動に従事してきた。特に、体操競技においては顧問ドクターとして安全な競技会運営に尽力し、その功績が称えられ青森県体操協会から感謝状が贈呈された。また、青森県スポーツドクターの会では理事、事務局として会の活動、運営に携わり、スポーツドクターと競技団体及びスポーツ行政との円滑な連携に貢献した。

推薦団体：公益財団法人 山形県スポーツ協会

氏名	矢吹 清隆
資格名	スポーツドクター
主な功績	2004年から山形県サッカー協会スポーツ医学委員会に所属し、小中高生サッカー選手やその指導者を対象に講演会、健康相談、スポーツ検診等の活動を精力的に行う活躍をした。また、競技会場医師として大会運営に参加し、スポーツ医・科学サポートに尽力した。この間、山形県サッカー協会理事、山形県スポーツ協会理事を務め、スポーツ団体の運営・発展に多大な貢献をした。
氏名	大島 扶美
資格名	スポーツドクター
主な功績	スポーツドクター資格取得後、通算26年以上にわたりスポーツの指導育成に携わり、スポーツ選手へのメディカルチェックや医学的アドバイスなどスポーツ障害予防に努め、地域スポーツの振興に尽力した。また、山形県トレーナー協会会長として、16年以上にわたり、県民の健康づくりや研修会を実施してきた功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 福島県体育協会

氏名	菅原 延夫
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり学校での講演活動や、地域スポーツの場におけるスポーツドクターとしての活動を行い、幅広く地域住民の健康管理・促進、疾病予防、スポーツ活動の安全な実施等について医学面から支え、地域スポーツに貢献した。
氏名	高橋 和博
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたりスポーツ医学の普及発展はもとより、福島県中地区の中・高生の陸上長距離競技者の健康相談に携わり、貧血対策や休養のとり方の指導等を通じて競技力向上に努めた。また、地域スポーツ大会の医療スタッフとして運営協力を行うなど地域スポーツへの貢献は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 群馬県スポーツ協会

氏名	安達 仁
資格名	スポーツドクター
主な功績	1994年から群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業のメディカルチェックへ協力し、1997年から群馬県スポーツ協会スポーツ医科学専門委員会委員として、2010年から群馬県スポーツドクター協議会役員として群馬県スポーツ界の発展に貢献している。
氏名	佐々木 菜穂子
資格名	スポーツドクター
主な功績	1989年から群馬県スポーツ協会の県民体力づくり相談事業のメディカルチェック、スポーツ医事相談事業等に積極的に協力し、群馬県スポーツ選手の競技力向上に寄与している。また、スポーツドクター協議会員として、群馬県のスポーツ界発展のために貢献している。

推薦団体：公益財団法人 山梨県スポーツ協会

氏名	藤原 三郎
資格名	スポーツドクター
主な功績	山梨県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会委員を長年務め、スポーツドクターとして国民体育大会参加選手への医・科学サポートやスポーツ少年団指導者講習会の講師を務めるなど、医・科学の分野で県全域での体育・スポーツの普及に尽力された。また、山梨県スポーツ協会競技力向上対策本部委員も務めるなど、地域における競技力の向上やスポーツ振興の功績は顕著である。

推薦団体：公益財団法人 新潟県スポーツ協会

氏名	根本 忠
資格名	体操コーチ1・ジュニアスポーツ指導員・スポーツドクター
主な功績	2003年に新潟県体操協会スポーツ医科学アドバイザーに就任し、国民体育大会に計10回以上帯同するなど、選手のケアに努めてきた功績は大きい。また、医・科学的なアドバイスやドーピングに関する指導を指導者・選手・保護者に行いスポーツ競技者の健全育成に寄与している。同協会副会長として、ガバナンスを大切に協会運営をしている。

推薦団体：公益財団法人 愛知県スポーツ協会

氏名	吉田 和雄
資格名	スポーツドクター
主な功績	2001年から現在まで脳神経外科にて中・高生のスポーツ中の脳振とうに対する処置をしている。また、2011年からスポーツドクター愛知県連絡協議会幹事として組織の発展に貢献した功績は多大である。

推薦団体：公益財団法人 滋賀県スポーツ協会

氏名	麻生 伸一
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年、滋賀陸上競技協会の医務委員長、びわ湖毎日マラソン医務委員長として陸上競技における医務活動を続けているほか、青少年に対してのスポーツ医学の啓発、高齢者のロコモ予防活動など活動は多岐にわたる。また滋賀県体育協会(現スポーツ協会)スポーツドクター委員会副委員長として活動後、同協会スポーツ医・科学委員会の立ち上げ時からの委員を務めている。滋賀県のスポーツ活動への貢献は多大で、その功績は誠に顕著である。

推薦団体：公益財団法人 兵庫県体育協会

氏名	半田 齊
資格名	スポーツドクター
主な功績	スポーツドクターとして、主に山岳競技の分野で、競技者の安心・安全のために尽力し、第61回国民体育大会(兵庫県)では山岳競技選手の医事担当を務めた。現在は、夏山医療についての講演会など、登山初心者のための医事相談などを行いながら、山岳競技の普及に努めている。兵庫県の山岳競技の普及に対する功績は非常に顕著である。
氏名	坂部 泰彦
資格名	スポーツドクター
主な功績	1987年から2006年に、加西市スポーツ少年団本部長を務め、主に少年少女のスポーツの普及に努めた。スポーツドクターの資格を活かして、スポーツのリスク回避と医学的見地から、練習方法についての講演会を例年開催するなどその功績は顕著である。現在でもスポーツドクターの研修に参加するなど、自己研鑽に努めるとともに、指導者の育成、地域住民のスポーツの普及に尽力している。

推薦団体：公益財団法人 愛媛県スポーツ協会

氏名	松岡 純弘
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、スポーツドクターとしてスポーツ医・科学の発展に寄与した。特に愛媛県スポーツドクター協議会会員として、スポーツ大会の医療救護に積極的に取り組むとともに、国民体育大会参加選手の健康診断に協力するなどスポーツ医・科学サポートに尽力している。

推薦団体：公益財団法人 福岡県スポーツ協会

氏名	香月 きょう子
資格名	スポーツドクター
主な功績	2000年から福岡女子テニス連盟北九州市部の医務を担当し、多くの選手のケアやサポートを実施してきた。福岡県で開催されるテニスやマラソン大会等においても出場選手の治療や健康の管理等を行っている。院長を務める池田医院でもスポーツドクターとして数多くのアスリートの治療や栄養、コンディショニングについての指導など地域のスポーツにあらゆる角度から携わっている。

推薦団体：公益財団法人 長崎県スポーツ協会

氏名	宮本 俊之
資格名	スポーツドクター
主な功績	長崎県体育協会（現スポーツ協会）競技力委員、長崎県バスケットボール協会医科学委員として、長崎県のスポーツの普及・発展に寄与してきた。現在も、長崎県体力総合診断担当ドクターとして、同県の競技力向上に携わっており、今後さらなる活躍が期待される。

推薦団体：公益財団法人 熊本県スポーツ協会

氏名	松下 和徳
資格名	スポーツドクター
主な功績	永年にわたり、開業医として地域医療に従事する傍ら熊本県ソフトボール協会の常務理事・医事委員長として、同協会の健全な運営に尽力するとともに、各種スポーツ大会のスポーツドクターとして参加者の安全管理等に携わり、地域のスポーツの振興並びに推進に貢献した。

推薦団体：公益財団法人 鹿児島県体育協会

氏名	前田 雅人
資格名	スポーツドクター
主な功績	国民体育大会参加選手を対象としたアンチ・ドーピング活動や国民体育大会帯同ドクターとして選手をサポートしてきた。現在、鹿児島県体育協会スポーツ医・科学委員会委員長として、各競技団体に医・科学的な取り組みを行っている。2004年から鹿児島県体育協会スポーツドクター協議会理事を務め、2018年に鹿児島県体育協会スポーツドクター協議会功労者表彰を受賞した。

はしる、とぶ、あろう、その先へ。

未来を担う子どもたちの健全な育成に、
スポーツは大きな貢献ができると思っています。
からだを動かすたのしさは、健康なからだを作り、
他者との関わりやルールへの学びは、社会性を育み、
達成のよろこびは努力の大切さを教えてくれます。
わたしたちは、スポーツに親しむ子どもたちが未来を創る
担い手になっていくまでの道のりを支え、あらゆる世代が
スポーツに親しめる社会の実現を目指しています。

スポーツと、望む未来へ。



JSPPO

Japan Sport Association

OFFICIAL PARTNERS



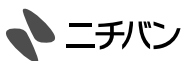
大塚製薬



三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

LOTTE

セレスポ



日本文化出版



時事通信社

OFFICIAL SUPPLIERS



日本体育施設

PR TIMES



MIKASA



JTB

【表彰の基準 第2号】 28 名

公認スポーツ指導者として、競技力の向上に尽力し、前年度に開催されたオリンピック競技大会、アジア競技大会又はこれに準じる国際大会において、優秀な成績をあげた選手を育成指導された方。

推薦団体：公益財団法人 日本陸上競技連盟

氏名	星野 晃志	資格名	陸上競技コーチ 1
指導選手名	染谷 佳大		
大会名	第30回ユニバーシアード競技大会	種目・成績	男子4×100mリレー 1位
主な功績	染谷佳大選手を中央大学にて指導している。今回の功績により日本陸上競技連盟2019年度の勲功章(指導者)を受章している。		
氏名	高野 進	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	デーデー ブルーノ		
大会名	第30回ユニバーシアード競技大会	種目・成績	男子4×100mリレー 1位
主な功績	デーデー ブルーノ選手を東海大学にて指導している。今回の功績により日本陸上競技連盟の2019年度勲功章(指導者)を受章している。		
氏名	今村 文男	資格名	陸上競技コーチ 3
指導選手名	鈴木 雄介		
大会名	ドーハ世界陸上競技選手権	種目・成績	男子50km競歩 1位
主な功績	鈴木雄介選手を富士通にて指導している。今回の功績により日本陸上競技連盟から2019年度勲功章(指導者)を受章している。		

推薦団体：公益財団法人 日本サッカー協会

氏名	長山 一也	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	上田 綺世		
大会名	第30回ユニバーシアード競技大会2019ナポリ	種目・成績	サッカー 1位
主な功績	法政大学サッカー部監督として上田選手を2017年から2年半指導した。		
氏名	鈴木 雅人	資格名	サッカーコーチ 3
指導選手名	上田 綺世		
大会名	第30回ユニバーシアード競技大会2019ナポリ	種目・成績	サッカー 1位
主な功績	私立鹿島学園高等学校サッカー部監督として上田選手を2014年から3年間指導した。		
氏名	小笠原 賢二	資格名	サッカーコーチ 4
指導選手名	上田 綺世		
大会名	第30回ユニバーシアード競技大会2019ナポリ	種目・成績	サッカー 1位
主な功績	鹿島アントラーズノルテジュニアユース監督として上田選手を2011年から3年間指導した。		

推薦団体：公益財団法人 日本体操協会

氏名	白井 千奈美	資格名	新体操コーチ 4 アシスタントマネジャー
指導選手名	鈴木 歩佳		
大会名	2019世界新体操選手権	種目・成績	新体操団体競技ナショナルチーム 種目別 1位
指導選手名	筋野 麗美		
大会名	第17回アジアジュニア新体操選手権	種目・成績	新体操団体競技ジュニアナショナルチーム 総合 3位
主な功績	鈴木歩佳選手を幼少期から指導・育成し、ナショナルチーム加入後も精神面のサポートで貢献した。また、筋野麗美選手を幼少期から現在まで指導しており、選手育成に尽力している。		
氏名	杉山 和美	資格名	新体操コーチ 3
指導選手名	松原 梨恵		
大会名	世界新体操選手権	種目・成績	新体操団体競技ナショナルチーム 種目別 1位
主な功績	松原梨恵選手を幼少期から指導し、ナショナルチーム加入後も精神面のサポートで貢献した。松原選手は2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロと2回のオリンピックに出場している。また、これまでもナショナル選手を輩出しており、選手育成に尽力している。		
氏名	竹内 美和子	資格名	新体操コーチ 3
指導選手名	熨斗谷 さくら		
大会名	世界新体操選手権	種目・成績	新体操団体競技ナショナルチーム 種目別 1位
主な功績	熨斗谷さくら選手を幼少期から指導・育成し、ナショナルチーム加入後も精神面のサポートで貢献した。熨斗谷選手は2016年リオデジャネイロオリンピック競技大会にも出場している。		
氏名	守屋 舞夏	資格名	体操競技コーチ 3
指導選手名	芦川 うらら		
大会名	2019/2020FIG種目別ワールドカップ (コトブス大会・メルボルン大会・バクー大会)	種目・成績	体操競技 種目別 1位
主な功績	8歳より指導している芦川うらら選手が2019/2020FIG種目別ワールドカップシリーズ中、3大会において平均台で優勝し、現在日本女子選手初種目別ワールドランキング1位となった。選手の個性を尊重し際立たせる構成と戦略を組む指導スタイルで種目のスペシャリストが評価される近年のルールを先取りし結果を出した。また、日本代表選手を指導する傍ら、幼児体操教室の指導で競技の普及にも力を注いでいる。		
氏名	釘宮 宗大	資格名	体操競技コーチ 3
指導選手名	カルロス ユーロ		
大会名	世界体操競技選手権大会 (シュツットガルト)	種目・成績	体操競技 種目別 1位
主な功績	2013年日本体操協会からフィリピンへコーチ派遣。日本で得た知識とFIG指導理論を基に独自の指導スタイルでカルロス ユーロ選手を指導。2016年から日本で引続き同選手を指導し、2019年世界体操競技選手権大会のゆか競技でフィリピン初の世界一に育て上げた。その指導法や考え方を日本体操協会コーチ育成委員として国内の指導者講習会等で惜しみなく共有し、国内の競技力向上とジュニア選手を育てる指導者育成に寄与している。		

推薦団体：公益財団法人 日本スケート連盟

氏名	野村 昌男	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	松井 大和		
大会名	世界スプリントスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 男子スプリント総合 6位
主な功績	松井大和選手を高校時代の3年間直接指導し、今日までの体力、精神力などの基礎を築き、世界に羽ばたく選手の土台をつくりあげた。		
氏名	今村 俊明	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	土屋 陸		
大会名	世界距離別スピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 男子チームパシュート 2位
主な功績	土屋陸選手の所属先である日本電産サンキョースケート部の指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	両角 実晃	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	福岡 歩里		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 女子チームパシュート 2位
主な功績	福岡歩里選手の東海大諏訪高校の指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	小原 健太郎	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	女子（福岡 歩里、堀川 桃花） 男子（堀川 翼、蟻戸 一永、森野 太陽）		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 女子チームパシュート女子 2位 男子チームパシュート男子 2位
主な功績	2020世界ジュニアスピードスケート選手権大会日本代表選手団監督として現地に帯同し、男女チームパシュートで銀メダルを獲得した、福岡歩里選手、堀川桃香選手、堀川翼選手、蟻戸一永選手、森野太陽選手にレース展開・戦略など直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	椿 央	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	森重 航		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 男子500m 3位
指導選手名	森野 太陽		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 男子チームパシュート 2位
指導選手名	高橋 侑花		
大会名	第3回ユースオリンピック冬季競技大会(2020/ローザンヌ)	種目・成績	スピードスケート 女子1500m 3位
主な功績	森重航選手、森野太陽選手、高橋侑花選手を山形中央高校の指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		

氏名	小野 俊	資格名	スケートコーチ1
指導選手名	森重 航		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 男子500m 3位
指導選手名	森野 太陽		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 男子チームパシュート 2位
指導選手名	高橋 侑花		
大会名	第3回ユースオリンピック冬季競技大会(2020/ローザンヌ)	種目・成績	スピードスケート 女子1500m 2位
主な功績	森重航選手、森野太陽選手、高橋侑花選手を山形中央高校の指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	和田 貴志	資格名	スケートコーチ3
指導選手名	蟻戸 一永		
大会名	第3回ユースオリンピック冬季競技大会(2020/ローザンヌ)	種目・成績	スピードスケート 1500m 1位、 マススタート 1位、 NOC混合チームスプリント 2位
指導選手名	山本 悠乃		
大会名	第3回ユースオリンピック冬季競技大会(2020/ローザンヌ)	種目・成績	スピードスケート 500m 1位
指導選手名	堀川 桃花		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権	種目・成績	スピードスケート 3000m 2位、 チームパシュート 2位
主な功績	蟻戸一永選手、山本悠乃選手、及び堀川桃香選手の所属先である白樺学園高等学校の指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	川上 隆史	資格名	スケートコーチ4マスター
指導選手名	熊谷 萌		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 女子500m 2位
主な功績	熊谷萌選手の所属である山梨学院大学の指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	伊藤 潤二	資格名	スケートコーチ3 スポーツプログラマー
指導選手名	熊谷 萌		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 女子500m 2位
主な功績	熊谷萌選手の所属である山梨学院大学の指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		

氏名	植津 悦典	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	熊谷 萌		
大会名	世界ジュニアスピードスケート選手権大会	種目・成績	スピードスケート 女子500m 2位
指導選手名	吉田 雪乃		
大会名	第3回ユースオリンピック冬季競技大会(2020/ローザンヌ)	種目・成績	スピードスケート 女子500m 2位、 NOC混合チームスプリント 1位
主な功績	熊谷萌選手、吉田雪乃選手を指導し、今日までの体力、精神力などの基礎を築き、世界に羽ばたく選手の土台をつくりあげた。		
氏名	杉尾 憲一	資格名	スケートコーチ 4
指導選手名	宮田 将吾、和田 拓実		
大会名	世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会	種目・成績	ショートトラック 3000mリレー 3位
主な功績	宮田将吾選手、和田拓実選手を中学校から高校までの指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	石関 祐樹	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	宮田 将吾、和田 拓実、林 伊吹、石井 桜汰		
大会名	世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会	種目・成績	ショートトラック 3000mリレー 3位
主な功績	2020世界ジュニアショートトラック選手権大会に日本代表選手団コーチとして現地に帯同し、男子3000mリレーで銅メダルを獲得した、宮田将吾選手、和田拓実選手、林伊吹選手、石井桜汰選手に、レース展開・戦略など直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	伴野 清貴	資格名	スケートコーチ 3
指導選手名	林 伊吹		
大会名	世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会	種目・成績	ショートトラック 3000mリレー 3位
主な功績	林伊吹選手を中学校から高校までの指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	藤ヶ崎 誠	資格名	スケートコーチ 1
指導選手名	石井 桜汰		
大会名	世界ジュニアショートトラックスピードスケート選手権大会	種目・成績	ショートトラック 3000mリレー 3位
主な功績	石井桜汰選手を中学校から高校までの指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		
氏名	佐藤 操	資格名	スケート教師
指導選手名	鍵山 優真		
大会名	第3回ユースオリンピック冬季競技大会(2020/ローザンヌ)	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル 1位、 NOC混合団体 2位
大会名	世界ジュニアフィギュア選手権大会	種目・成績	フィギュアスケート 男子シングル 2位
主な功績	鍵山優真選手を中学校から高校までの指導者として直接指導し、メダル獲得に貢献した。		

推薦団体：公益財団法人 全日本柔道連盟

氏名	正木 嘉美	資格名	柔道コーチ1
指導選手名	大野 将平		
大会名	2019世界柔道選手権東京大会	種目・成績	柔道73kg級 1位
指導選手名	丸山 城志郎		
大会名	2019世界柔道選手権東京大会	種目・成績	柔道66kg級 1位
主な功績	全日本柔道連盟強化委員の要職を歴任するかたわら、天理大学において柔道指導に専念し、大野将平選手や丸山城志郎選手を育て世界の舞台に送り出すなど数多くの有力選手を育て上げてきた。現在も引き続き、同校において後進の柔道指導に熱心に取組むなど、その功績は顕著である。		

推薦団体：公益財団法人 日本バドミントン協会

氏名	齋藤 巨	資格名	バドミントンコーチ1
指導選手名	桃田 賢斗		
大会名	世界選手権大会 バドミントン競技	種目・成績	男子シングルス 1位
主な功績	ふたば未来学園において、中高一貫教育のスクールメリットを生かして、日本代表選手を数多く指導している。現在、東京2020オリンピックバドミントン競技日本代表選手として、同学園の卒業生が多く活躍している。東日本大震災の被害を直接体験している選手も多く、震災復興を糧にさらなる飛躍を目指して頑張る多くの福島県民の代表として、指導育成に尽力して功績している。		

【表彰の基準 第3号】 1名

受賞年度に満30歳以下の者のうち、今後、当該推薦団体において中心的な役割を担うことが期待される者。

推薦団体：公益財団法人 日本ハンドボール協会

氏名	嘉数 陽介	資格名	ハンドボールコーチ4
指導選手名	永田 美香、角南 果帆、角南 唯、塩田 沙代、石井 優花、藤田 明日香、堀川 真奈、板野 陽、勝連 智恵、多田 仁美、宮川 裕美、田邊 夕貴、秋山 なつみ、池原 綾香、大山 真奈、佐々木 春乃、永田 しおり、亀谷 さくら、中山 佳穂、河田 知美、石川 真悠子		
昨年の功績	第24回女子世界選手権	種目・成績	ハンドボール 女子日本代表 10位
主な功績	2015年から、ハンドボール女子日本代表チームのアナリストとして活動し、外国人ヘッドコーチに的確な情報分析結果を伝える役割を果たす。現在はJOC専任情報科学スタッフとして、将来的にも日本ハンドボール協会内で中心的な活躍が期待されている。		

【表彰の基準 第5号】 2名

公認スポーツ指導者制度の確立及び発展などのために貢献し、顕著な功績があるとして当協会が特に認めた方。

推薦団体：公益財団法人 日本スポーツ協会

氏名	原田 宗彦
所属	早稲田大学
主な功績	2000年度から永年にわたり、公認スポーツ指導者養成講習会講師（スポーツ経営学）として指導者の育成に貢献した。
氏名	別府 諸兄
所属	日本股関節研究振興財団
主な功績	2005年度から永年にわたり、公認スポーツドクター養成講習会講師（スポーツ外傷・障害の最新情報（3）-肘・手関節・手指）や日本スポーツ協会スポーツドクター部会委員としてスポーツドクターの育成に貢献した。

次は私たちの時代 誓う、フェアプレイ



森山真稔 (26 歳 フライングディスク)



三木萌子 (21 歳 サッカー)



池田春子 (22 歳 水泳)



小山滉平 (20 歳 ローラースケート)



山内康輔 (21 歳 バレーボール)



中島理沙 (21 歳 なぎなた)

「フェアプレー」って、空気のように当たり前のようで、改めて考えてみると、わかっていないものかも…
そんなフェアプレーを、JSPO (日本スポーツ協会) は考え続け、さまざまな取組を行っています。
日本の未来を担う若者がフェアプレーをとことん考える「フェアプレイ会議」もそのひとつ。
フェアプレーを考えている JSPO も、スポーツを楽しむ皆さんにとっては
空気のような存在なのかもしれません。
それでも、JSPO はあなたのスポーツを確かにサポートしています。
あなたのフェアプレイ宣言で、ともに望む未来へ。



WEB でフェアプレイ宣言募集中

フェアプレイ宣言

検索

2019.04 時点

SPORT
JSPO OFFICIAL LICENSE